「平和と人権」市民ネットワーク情報 N018-4

事務局発行(℡ 0557-45-1182) http://peaceito.moo.jp 2018.4/22

「安倍退陣」5万人

(題字は 4/15 付「赤旗」、写真は 4/15 付「朝日」から)

◆4 月 14 日(土)国会正門前で、安倍政権に抗議し、首相の退陣を求める大規模な集会が開かれました。14 時からの第一部に 3 万人、晩のキャンドル行進も含めると、5 万人もの人が国会前を埋め尽くしました。

森友学園への国有地売却をめぐる公文書偽造、加計学園設立を「首相案件」と述べながら「記憶にない」とシラを切る首相秘書官、イラク派遣時の日報を一年以上にわたって隠してきた自衛隊・防衛省…政府の中枢がメルトダウンを起こし、ウソ・隠ぺい・偽造にまみれている。にもかかわらず、政治家の誰一人として責任を取らない。5 万人の人たちは、最大の責任者である安倍首相に怒りの矛先を向け、「ウミは安倍晋三その人だ」というアジテーションに喝采を送っていました。

◆安倍首相の虚言は枚挙にいとまがありません。

・放射能汚染水はコントロールされている。
・世界経済はリーマンショック前にある。
・自衛隊が米軍の海外戦争に加担するのは「積極的平和主義」だ。
・北朝鮮問題は「国難突破」の闘いだ。

…そして、モリカケ。「私や妻が～」

トップが虚言実行犯であれば、それに仕える首相秘書官が「記憶がない」とシラを切り、存在する文書の公開請求に「ない」と回答し、あげくは都合の悪い公文書を改ざんすることもー自死した近畿財務職員を犠牲にー、「罪の意識なく」平気で行うようになるでしょう。財務省事務次官に至っては、性的嫌がらせを「言葉遊びだった」と弁じました。権力を笠に着て不正に居直るのが、安倍政権に充満するウミの正体です。

政治と行政の腐敗・堕落を糺すのは司直の役割です。しかし、あれだけ証言拒否を繰り返した佐川氏さえ立件できるか危うい。ならば、市民が直接声をあげ「安倍退陣」を迫るしかありません。「信なくば立たず」などと、またもや言葉だけの見栄を切る安倍晋三氏、もうとっくに国民の信頼を失っているのだから、言葉通りに、即刻退陣したらどうか。「ウミの元凶は安倍晋三その人だ」。 (M.Y)

5月3日、伊東・憲法集会

◆政権基盤が弱体化するなかで、「憲法改正」はもう無理だろう、という声を聞きます。果たしてそうでしょうか。自民党は窮地に陥ると保守バネが作動する歴史があります。安倍首相は党内の求心力を回復するために、一層憲法改正に前のめりになる可能性もあります。今の政治状況を楽観して、運動を緩めるわけには行きません。私たちは来たる5月3日、以下の要領で『伊東・憲法集会』を開いて、「安倍9条改憲NO！」の声をさらに広めていきます。(詳しくは別紙(添付)のチラシを参照)

伊東・憲法集会＆ピースパレード

・5月3日(木) 14:00～　　少雨決行

・集会場所「松川藤の広場」

◎第一部　～歌とスピーチ～

リード役…浦島バンド、田中秀幸さん、中川洋三郎さん、古川宣子さん

◎第二部(15:00)　～ピースパレード～

・主催：伊東市民アクション　(連絡先　☎ 37-9134)

4/8「憲法、ミニ学習会 in 荻」の報告

◆会場の二階ホールの半分に長机を並べ座席を作りました。4月にしては底冷えのする寒さ。地元の荻・十足から参加した人が何人もいました。30代、40代とおぼしき方もチラホラ。全部で33名の来場者がありました。これまでの「ミニ学習会」では最多の参加者数です。

講師は函南にお住いの原田政信さん。テーマは**「日本会議」**。安倍首相が念願とする憲法改正を草の根で支え、後押ししている団体です。地元選出の衆議院議員=勝又孝明氏、渡辺周氏も有力メンバーと知らされ、会場内に驚きの声が。森友学園への国有地売却問題で働きかけた議員も、前川元文部事務次官の講演を問題視して文科省に干渉した議員も、いずれも「日本会議国会議員懇談会」のメンバーでした。構成組織は神社本庁を中軸に仏教系、キリスト教系の新興宗派を網羅し、それに前最高裁長官や保守的な文化人が個人会員として加わっています。全国

の神社に置かれた賽銭箱から資金が上納されるので莫大な資金力があります。

一体「**日本会議**」はどんな社会・国家を目指しているのでしょうか。

第一に、戦後民主主義と日本国憲法の否定、いわゆる歴史修正主義。

第二に、天皇中心の神国日本の復活。

第三に社会の基本的な構成原理として家族制度の再建。そのコロラリーとして、アンチジェンダーフリーとアンチ夫婦別姓を主張する。

原田さんの要約によると、第一に明治憲法体制の復活、第二に軍事大国化を支える復古主義。これが「**日本会議**」が目指すものです。

質疑に入ってから、以下のような意見・質問が参加者から出されました。

・「日本会議」の運動にアメリカ(CIA)からの関与はないか？
・政治の右翼化に与する勢力として、自衛隊の隊友会、郷友会のような組織もあるのではないか。
・神道系団体の他に、仏教系、キリスト教系の団体が加わっているのはなぜか。
・軍事大国化路線は財界もあと押ししているのではないか。

※講師の原田さんも答えに窮するような質問もいくつかありました。それだけ実態が詳らかではない、その意味で「不気味な」団体と言えるのかもしれません。いずれにしても、草の根の改憲運動に対抗するには草の根から憲法擁護の運動を進めることが大事であることを参加者一同は確認しました。　　（文責　三好康昭）

寄稿－4/14 国会前行動に参加して－　戸田 斉

前の日から葉山に昔の仲間と泊りがけで行っていましたので、丁度都合よく中央集会に加わることが出来ました。少し早めに国会前に着いて演壇の真ん前に開始を待ち、長妻さんや、志位さんたちの挨拶を目のまえに聞いておりましたので、カメラの放列の中に映っていたかな？と期待しましたが、誰からも連絡はありません。テレビでは家に時々客人としておいでの女性がマイクに向かって政権糾弾の声を発してくれていましたが。当日は開始前から沢山の人達が押し寄せ、日比谷公園を横切って歩いている時でもそれらしいグループと一緒になりました

から、国会前ではゼッケンの人並みと旗や幟の放列とで歩くのがやっとでしたが、却ってその事が心のそこから何やら元気やらうれしさが込み上がって来るようで、私は一介の集会参加者でしたが、こうした気分に浸りたくて来ているのだなと、半分位は正直そうなのですが、何回も集会には出かけているのですが、流石にこの時位、参加者を数えると喜びを超えて、ひたひたと押し寄せる民衆の正義を求める怒涛の力の中にいるその現実こそ我々民衆の求めるものではないかと思えます。目標実現（勿論当面は現安倍政権の打倒なのですが）までにはまだまだ頑張りが求められると思いますが、しかしこれこそ我々民衆の求めて止まない人生の半分なのでしょうから、実現目がけてこれからも。最後にはなりますが、マンネリ化イコール民衆参加の現実性に少し観察が足りないかなと思うことと、やはり仕上げはデモと行きたいですね。

【お断り】本号は内容がネットワーク情報と重なっていますので合体版としてお知らせさせていただきます

安倍九条改憲 NO！憲法を生かす 3000 万署名の成功を！

市民アクション通信

No.4
2018.4.23

発行 ＝ 安倍九条改憲NO！伊東市民アクション

署名集約先：伊東市職労付　〒414-0046 伊東市大原 2-1-1　Tel.0557-37-9134　Fax.0557-37-1347

伊東の目標は
15000
5月末まで

4月中の目標 5000筆を達成！パチパチ
次は8000筆を目指して頑張ろう！！

九条改憲を止め、安倍政権退陣へ！

現在の署名数
5,005筆
※4/20 現在事務局把握分

伊東市職労組で1700筆

伊東市職員労働組合では、春闘の重要課題の一つとして９条改憲を許さない運動を位置づけ、「なぜ自治体労働組合がこの署名に取り組むのか」という学習会を開催しながら、組合員一人１０筆の目標を掲げて取り組み約１７００筆を集約しています。民主商工会でも９５０筆を集めてエンジン全開です。

25人で「アベ政治許さない」アピール —19日行動実施

４月１９日(木)１４時から、観光会館前に２５名の方が集まってスタンディング・アピールを行いました。

「アベ政治を許さない」、「安倍政権退陣」、「九条改憲 NO!」といったプラカードを掲げ、ドライバーやスーパーで買い物をする人たちに政治の革新を訴えました。スピーチでは、文書改ざんや防衛省の日報隠し、財務省次官のセクハラ問題など、行政中枢の腐敗・堕落を糾弾する声が溢れました。

最後に「戦争法廃止！」を訴えるコールで「19 日行動」を締めくくりました。

メーデー集会に参加を

伝統のメーデー集会が開催されます。政府の「働き方改悪」では過労死が当たり前の社会に。「人間らしい働き方」を追求することは労働運動の原点。メーデーは、その象徴ともいえる取組みです。そして、戦争する国づくりを進めるような平和憲法を壊す企てを何としても打破しましょう！そのためにもメーデーを成功させ世論を盛上げましょう！

お誘い合わせてお出かけください。

5月1日（火）17時30分～
物見塚公園市役所となり

集会後行進、伊東駅前付近で解散

「安倍は見るのもイヤ！」で署名広がる

「19 日行動」が終わってから、新婦人の方など有志 4 名で近隣の戸別署名活動を行いました。ウイークデーの昼下がりで留守宅が多かったです。八幡神社の境内で草むしりをしていたおばさんに声をかけました。こ人は「憲法」という言葉よりも、「安倍首相」という言葉に強く反応しました。

「あの人は辞めて欲しい。野党の言い分をきこうとしない、見るのも嫌だ」と言いながら、署名してくれました。40 分で 10 筆を得ました。

お願い

集めた署名は随時、事務局（上記記載）へ上げてください。
団体で集約された場合は筆数を事務局へお知らせください。